

条文ごとの工事等（設計基準）

条文	対象建屋	対象機器	内容（工事、評価）	物量（工事、評価）
第4条 閉じ込めの機能	ウラン脱硝建屋	フード、グローブボックス	外部拡散防止としてパネル・グローブの追設	フード、グローブボックス：9基
第5条 火災等による損傷の防止 次の対策を検討中 ・制御床下、一般共同溝に固定式消火設備の設置 ・蓄電池室への水素濃度計の追設 ・系統分離による安重設備の防火対策の実施 ・火災感知器等の耐震性の確保	使用済燃料受入れ・貯蔵建屋	火災感知器	火災感知器の多様化	感知器：527台
		消火器	消火器の固定化	消火器：240個
		逆止弁他（屋内消火栓設備）	地盤変位対策として屋内消火栓設備（配管）への逆止弁、送水口の追設	逆止弁、送水口：1箇所
		間仕切壁	間仕切壁の設置	壁面：1箇所
		貫通孔処理	耐火処理	貫通孔：2454箇所
	使用済燃料受入れ・貯蔵管理建屋	逆止弁他（屋内消火栓設備）	地盤変位対策として屋内消火栓設備（配管）への逆止弁、送水口の追設	逆止弁、送水口：1箇所
	使用済燃料輸送容器管理建屋	逆止弁他（屋内消火栓設備）	地盤変位対策として屋内消火栓設備（配管）への逆止弁、送水口の追設	逆止弁、送水口：1箇所
	第1低レベル廃棄物貯蔵建屋	逆止弁他（屋内消火栓設備）	地盤変位対策として屋内消火栓設備（配管）への逆止弁、送水口の追設	逆止弁、送水口：1箇所
	第4低レベル廃棄物貯蔵建屋	逆止弁他（屋内消火栓設備）	地盤変位対策として屋内消火栓設備（配管）への逆止弁、送水口の追設	逆止弁、送水口：1箇所
	使用済燃料受入れ・貯蔵施設用冷却水設備(A) (F1(A))	火災感知器	火災感知器の多様化	感知器：71台
		消火器	消火器の固定化	消火器：4個
	使用済燃料受入れ・貯蔵施設用冷却水設備(B) (F1(B))	火災感知器	火災感知器の多様化	感知器：143台
		消火器	消火器の固定化	消火器：18個
	使用済燃料受入れ・貯蔵施設用冷却水設備(B) (F1(B))	貫通孔処理	耐火処理	貫通孔：367箇所
	重油タンク室（使用済燃料受入れ・貯蔵施設）	火災感知器	火災感知器の多様化	感知器：16台
		前処理建屋	火災感知器	火災感知器の多様化
		消火器	消火器の固定化	消火器：255個
		防火ダンパ	防火ダンパの追設	ダンパ：17台
	逆止弁他（屋内消火栓設備）	地盤変位対策として屋内消火栓設備（配管）への逆止弁、送水口の追設	逆止弁、送水口：1箇所	
	防火戸	防火戸（排水扉）設置	防火戸：32箇所	
	貫通孔処理	耐火処理	貫通孔：1076箇所	
	ステンレス扉	耐火対策	扉：2箇所	

注）本表に記載の内容は、現状の設計進捗を反映したものであり、対象機器、内容および物量については、今後、変更となる場合がある。

条文ごとの工事等（設計基準）

条文	対象建屋	対象機器	内容（工事、評価）	物量（工事、評価）
	分離建屋	火災感知器	火災感知器の多様化	感知器：熱837台 煙7台 計844台
		消火器	消火器の固定化	消火器：166個
		逆止弁（屋内消火栓設備）	地盤変位対策として屋内消火栓設備（配管）への逆止弁の追設	逆止弁：1箇所
		貫通孔処理	耐火処理	貫通孔：4574箇所
		防火戸	防火戸の変更	防火戸：27箇所
	精製建屋	火災感知器	火災感知器の多様化	感知器：701台
		消火器	消火器の固定化	消火器：29個
		防火ダンパ	防火ダンパの追設	ダンパ：209台
			防火ダンパの交換	ダンパ：10台
		防火戸	防火戸（排水扉）設置	防火戸：45箇所
		気送管	気送管のSUS化（3時間耐火処理の一環）	SUS化配管：15箇所
		間仕切壁	間仕切壁の設置	壁面：4箇所
貫通孔処理	耐火処理	貫通孔：2384箇所（止水含む）		
	低レベル廃液処理建屋	逆止弁他（屋内消火栓設備）	地盤変位対策として屋内消火栓設備（配管）への逆止弁、送水口の追設	逆止弁、送水口：1箇所
		貫通孔処理	耐火処理	貫通孔：14箇所
	ハル・エンドピース貯蔵建屋	貫通孔処理	耐火処理	貫通孔：50箇所
	制御建屋	火災感知器	火災感知器の多様化	感知器：353台
		防火ダンパ	防火ダンパの交換	ダンパ：49台
		消火器	消火器の固定化	消火器：91個
		逆止弁（屋内消火栓設備）	地盤変位対策として屋内消火栓設備（配管）への逆止弁の追設	逆止弁：1箇所
		防火戸	防火戸の交換	扉：9箇所
		間仕切壁	間仕切壁の設置	壁面：3箇所
		貫通孔処理	耐火処理	貫通孔：388箇所
		ステンレス扉	耐火対策	扉：2箇所

注）本表に記載の内容は、現状の設計進捗を反映したものであり、対象機器、内容および物量については、今後、変更となる場合がある。

条文ごとの工事等（設計基準）

条文	対象建屋	対象機器	内容（工事、評価）	物量（工事、評価）
	分析建屋	火災感知器	火災感知器の多様化	感知器：13台、中継器盤：1台、ケーブル（電線管等）：約160m（内電線管約45m）
		消火器	消火器の固定化	消火器：166個（OSL除く）
		逆止弁（屋内消火栓設備）	地盤変位対策として屋内消火栓設備（配管）への逆止弁の追設	逆止弁：1箇所
		扉	耐火対策	扉：1箇所
		貫通孔処理	耐火処理	詳細検討中
	出入管理建屋	逆止弁他（屋内消火栓設備）	地盤変位対策として屋内消火栓設備（配管）への逆止弁、送水口の追設	逆止弁、送水口：1箇所
	主排気筒管理建屋	火災感知器	火災感知器の多様化	詳細検討中
		消火器	消火器の固定化	消火器：6個
		貫通孔処理	耐火処理	貫通孔：約40箇所
	ウラン脱硝建屋	火災感知器	火災感知器の多様化	感知器：約100台
		消火器	消火器の固定化	消火器：約60個
		防火ダンパ	防火ダンパの追設	ダンパ：5台
		逆止弁他（屋内消火栓設備）	地盤変位対策として屋内消火栓設備（配管）への逆止弁、送水口の追設	逆止弁、送水口：1箇所
		貫通孔処理	耐火処理	貫通孔：約110箇所
	ウラン酸化物貯蔵建屋	火災感知器	火災感知器の多様化	感知器：約50台
		消火器	消火器の固定化	消火器：約30個
		貫通孔処理	耐火処理	貫通孔：約10箇所
	ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋	火災感知器	火災感知器の多様化	感知器：約300台
		消火器	消火器の固定化	消火器：約150個
		防火ダンパ	防火ダンパの追設	ダンパ：約50台
		逆止弁他（屋内消火栓設備）	地盤変位対策として屋内消火栓設備（配管）への逆止弁、送水口の追設	逆止弁、送水口：1箇所
		グローブボックス	グローブボックスへの難燃性パネルの追設	グローブボックス数：9基
		火災感知器	感知設備の耐震補強	感知器：約300台
		貫通孔処理	耐火処理	貫通孔：約900箇所

注）本表に記載の内容は、現状の設計進捗を反映したものであり、対象機器、内容および物量については、今後、変更となる場合がある。

条文ごとの工事等（設計基準）

条文	対象建屋	対象機器	内容（工事、評価）	物量（工事、評価）
	ウラン・プルトニウム混合酸化物貯蔵建屋	火災感知器	火災感知器の多様化	感知器：約200台
		消火器	消火器の固定化	消火器：約80個
		貫通孔処理	耐火処理	貫通孔：約200箇所
		逆止弁他（屋内消火栓設備）	地盤変位対策として屋内消火栓設備（配管）への逆止弁、送水口の追設	逆止弁、送水口：1箇所
	低レベル廃棄物処理建屋	貫通孔処理	耐火処理	貫通孔：14箇所
		逆止弁他（屋内消火栓設備）	地盤変位対策として屋内消火栓設備（配管）への逆止弁、送水口の追設	逆止弁、送水口：1箇所
	第2低レベル廃棄物貯蔵建屋	貫通孔処理	耐火処理	貫通孔：56箇所
		防火ダンパ（電子部品）	防火ダンパのヒューズホルダの交換	ダンパ：1台
	チャンネルボックス・バーナブルボイゾン処理建屋	貫通孔処理	耐火処理	貫通孔：49箇所
		防火ダンパ（電子部品）	防火ダンパのヒューズホルダの交換	ダンパ：6台
	非常用電源建屋	火災感知器	火災感知器の多様化	感知器：254台
		防火ダンパ	防火ダンパの交換	ダンパ：6台
		消火器	消火器の固定化	消火器：42個
		貫通孔処理	耐火処理	貫通孔：203箇所
	高レベル廃液ガラス固化建屋	火災感知器	火災感知器の多様化	感知器：586台
		消火器	消火器の固定化	消火器：191個
		防火シャッター	防火シャッターの追加	シャッター：4基
		防火ダンパ	防火ダンパの交換または追設	ダンパ：52台
		逆止弁他（屋内消火栓設備）	地盤変位対策として屋内消火栓設備（配管）への逆止弁、送水口の追設	逆止弁、送水口：1箇所
		貫通孔処理	耐火処理	貫通孔：424箇所
	第1ガラス固化体貯蔵建屋	火災感知器	火災感知器の多様化	感知器：84台
		消火器	消火器の固定化	消火器：38個
		防火ダンパ	防火ダンパの交換	ダンパ：2台
		逆止弁他（屋内消火栓設備）	地盤変位対策として屋内消火栓設備（配管）への逆止弁、送水口の追設	逆止弁、送水口：1箇所

注）本表に記載の内容は、現状の設計進捗を反映したものであり、対象機器、内容および物量については、今後、変更となる場合がある。

条文ごとの工事等（設計基準）

条文	対象建屋	対象機器	内容（工事、評価）	物量（工事、評価）
	一般共同溝	火災感知器	火災感知器の多様化	感知器：520台
		防火ダンパ	防火ダンパの交換	ダンパ：8台
		消火器	消火器の固定化	消火器：179個
		貫通孔処理	耐火処理	貫通孔：283箇所
	評価	機器・配管系	内部火災に係る説明書 ・基本方針 ・3時間耐火性能評価 ・内部火災影響評価 ・難燃性ケーブル自己消火性及び延焼性の評価	ウラン脱硝建屋、ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋、ウラン・プルトニウム混合酸化物貯蔵建屋、制御建屋、非常用電源建屋等
第7条 地震による損傷の防止	使用済燃料受入れ・貯蔵建屋	燃料取出し装置	耐震補強	燃料取出し装置：2基
		使用済燃料受入れ・貯蔵建屋天井クレーン	耐震補強	FA天井クレーン：2基
		燃料取扱装置	耐震補強	燃料取扱装置：3基
		燃料移送水中台車	耐震補強	燃料水中台車：2基
	使用済燃料受入れ・貯蔵施設用冷却水設備(A) (F1(A))	使用済燃料受入れ・貯蔵施設用冷却水設備(A)冷却塔 (F1(A))	耐震補強	冷却塔：1基
	使用済燃料受入れ・貯蔵施設用冷却水設備(B) (F1(B))	使用済燃料受入れ・貯蔵施設用冷却水設備(B)冷却塔 (F1(B))	耐震補強	冷却塔：1基
	前処理建屋	バスケット取扱装置	耐震補強	バスケット取扱装置：1基
		バスケット搬送機	耐震補強	バスケット搬送機：2基
		燃料横転クレーン	耐震補強	燃料横転クレーン：2基
	精製建屋	精製建屋 グローブボックス	耐震補強	グローブボックス：5基
	安全冷却水A冷却塔 (A4(A))	安全冷却水A冷却塔 (A4(A))	耐震補強	サポート追加：1式
	安全冷却水B冷却塔 (A4(B))	安全冷却水B冷却塔 (A4(B))	耐震補強	プレス：172本 サポート追加：1式 エアフィン：18基
	ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋	ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋 グローブボックス	耐震補強	グローブボックス：16基
	ウラン・プルトニウム混合酸化物貯蔵建屋	ウラン・プルトニウム混合酸化物貯蔵建屋 貯蔵ホール	トラスの補強	トラス：4基

注) 本表に記載の内容は、現状の設計進捗を反映したものであり、対象機器、内容および物量については、今後、変更となる場合がある。

条文ごとの工事等（設計基準）

条文	対象建屋	対象機器	内容（工事、評価）	物量（工事、評価）
	非常用電源建屋冷却設備冷却塔A (G10(A))	非常用電源建屋冷却設備冷却塔A (G10(A))	耐震補強	プレス：84本 サポート追加：1式 エアフィン：16基
	非常用電源建屋冷却設備冷却塔B (G10(B))	非常用電源建屋冷却設備冷却塔B (G10(B))	耐震補強	プレス：84本 サポート追加：1式 エアフィン：16基
	第1 ガラス固化体貯蔵建屋	第1 ガラス固化体貯蔵建屋 屋根トラス	耐震補強	トラス：1式
	評価	建物・構築物	耐震性に関する説明書 ・基本方針 ・耐震評価	28建屋、15河道
		機器・配管系	耐震性に関する説明書 ・基本方針 ・耐震評価	Sクラス設備（Ss機能維持を含む） Bクラス設備（共振のおそれのある設備のみ）
第9条 外部からの衝撃による損傷の防止（火山）	使用済燃料受入れ・貯蔵建屋	火山フィルタ架台設置	火山灰フィルタ取り付け用架台を設置	詳細検討中
	非常用電源建屋	火山フィルタ架台設置	火山灰フィルタ取り付け用架台を設置	詳細検討中
	ユーティリティ建屋	電気設備	GC電源車接続盤の改良（火山灰降下時にFCTに収容した1000kVA電源車2台からGC経由でGAに給電）	詳細検討中
		火山フィルタ架台設置	火山灰フィルタ取り付け用架台を設置	詳細検討中
	評価	建物・構築物	火山防護設計に関する説明書 ・基本方針 ・火山灰防護に係る評価（火山灰荷重）	使用済燃料受入れ・貯蔵建屋、前処理建屋、分離建屋、精製建屋、ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋、高レベル廃液ガラス固化建屋等
		機器・配管系	火山防護設計に関する説明書 ・基本方針 ・火山灰防護に係る評価（火山灰荷重）	主排気筒、使用済燃料の受入れ施設及び貯蔵施設用 安全冷却水系冷却塔 A、B、再処理設備本体用 安全冷却水系冷却塔 A、B、第2 非常用ディーゼル発電機用 安全冷却水系冷却塔 A、B、竜巻防護対策設備等
第9条 外部からの衝撃による損傷の防止（外部火災）	(屋外)	防火帯	防火帯の設置	防火帯：1式
	評価	建物・構築物	外部火災に係る説明書 ・基本方針 ・森林火災による外部火災防護施設への熱影響評価 ・近隣工場等の火災に係る再処理施設への熱影響評価 ・MOX燃料加工施設の高圧ガストレーラの爆発に対する影響評価 ・敷地内の危険物タンク等の爆発に対する影響評価	使用済燃料受入れ・貯蔵建屋、前処理建屋、分離建屋、精製建屋、ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋、高レベル廃液ガラス固化建屋等

注) 本表に記載の内容は、現状の設計進捗を反映したものであり、対象機器、内容および物量については、今後、変更となる場合がある。

条文ごとの工事等（設計基準）

条文	対象建屋	対象機器	内容（工事、評価）	物量（工事、評価）
		機器・配管系	外部火災に係る説明書 ・基本方針 ・森林火災による外部火災防護施設への熱影響評価 ・近隣工場等の火災に係る再処理施設への熱影響評価 ・MOX燃料加工施設の高圧ガストレーラの爆発に対する影響評価 ・敷地内の危険物タンク等の爆発に対する影響評価	使用済燃料の受入れ施設及び貯蔵施設用 安全冷却水系冷却塔A、B、再処理設備本体用 安全冷却水系冷却塔A、B、主排気筒、竜巻防護対策設備等
第9条 外部からの衝撃による損傷の防止（航空機墜落火災）	試薬建屋	薬品タンク	航空機墜落火災の火災源排除のため薬品タンク（HN、TBP、n-DD）を地下化	タンク：3基
	（屋外）	屋外設備（冷却塔、竜巻防護対策設備等）	耐火被覆（耐火塗料）	詳細検討中
	評価	建物・構築物	外部火災に係る説明書 ・基本方針 ・航空機落下による火災熱影響評価	使用済燃料受入れ・貯蔵建屋、前処理建屋、分離建屋、精製建屋、ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋、高レベル廃液ガラス固化建屋等
		機器・配管系	外部火災に係る説明書 ・基本方針 ・航空機落下による火災熱影響評価	使用済燃料の受入れ施設及び貯蔵施設用 安全冷却水系冷却塔A、B、再処理設備本体用 安全冷却水系冷却塔A、B、主排気筒、竜巻防護対策設備等
第9条 外部からの衝撃による損傷の防止（竜巻）	使用済燃料受入れ・貯蔵施設用冷却水設備(A) (F1(A))	使用済燃料受入れ・貯蔵施設用冷却水設備(A)冷却塔 (F1(A))	防護ネットの設置	防護ネット：139枚、防護板：146枚
	使用済燃料受入れ・貯蔵施設用冷却水設備(B) (F1(B))	使用済燃料受入れ・貯蔵施設用冷却水設備(B)冷却塔 (F1(B))	防護ネットの設置	詳細検討中
	前処理建屋	建物	防護板の設置（鋼材、鉄筋コンクリート：開口、扉、LPG-B)	防護板：3枚+a（+a分は扉、LPGボンベ庫の設計による）
	分離建屋	屋外ダクト	防護板の設置	防護板：約770枚
	精製建屋	屋外ダクト	防護板の設置	防護板：約370枚
		建物	防護板の設置（鉄筋コンクリート：開口）	防護板：4枚
	制御建屋	建物	防護板の設置（鋼材、鉄筋コンクリート：開口）	防護板：1枚
	主排気筒・主排気筒管理建屋・屋外排気ダクト	主排気筒・主排気筒管理建屋・屋外排気ダクト	防護板の設置	防護板：約900枚
	北換気筒	北換気筒	制振ダンパーの追設	ダンパー：12本
			鉄塔補強	部材交換：1式 補強部材追加：1式
安全冷却水A冷却塔 (A4(A))	安全冷却水A冷却塔 (A4(A))	安全冷却水冷却塔の移設	冷却塔：1式	
		防護ネット、防護板の設置	詳細検討中	
安全冷却水B冷却塔 (A4(B))	安全冷却水B冷却塔 (A4(B))	防護ネット、防護板の設置	防護ネット：161面 防護板：4枚	

注) 本表に記載の内容は、現状の設計進捗を反映したものであり、対象機器、内容および物量については、今後、変更となる場合がある。

条文ごとの工事等（設計基準）

条文	対象建屋	対象機器	内容（工事、評価）	物量（工事、評価）
	非常用電源建屋	建物	防護板の設置（鋼材：壁、シャッター、開口）	防護板：120枚
	非常用電源建屋冷却設備冷却塔A（G10(A)）	非常用電源建屋冷却設備冷却塔A（G10(A)）	防護ネット、防護板の設置	防護ネット：69面 防護板：33枚
	非常用電源建屋冷却設備冷却塔B（G10(B)）	非常用電源建屋冷却設備冷却塔B（G10(B)）	防護ネット、防護板の設置	防護ネット：69面 防護板：33枚
	高レベル廃液ガラス固化建屋	屋外ダクト	防護板の設置	防護板：約150枚
		建物	防護板の設置（鋼材、鉄筋コンクリート：開口）	防護板：3枚
	第1 ガラス固化体貯蔵建屋	建物	防護板の設置（鉄筋コンクリート：壁）	防護板：1枚
	（屋外）	車両固縛装置	車両固縛装置の設置	詳細検討中
	評価	建物・構築物	竜巻防護設計に関する説明書 ・基本方針 ・竜巻防護に係る評価（竜巻荷重）	使用済燃料受入れ・貯蔵建屋、前処理建屋、分離建屋、精製建屋、ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋、高レベル廃液ガラス固化建屋等
		機器・配管系	竜巻防護設計に関する説明書 ・基本方針 ・竜巻防護に係る評価（竜巻荷重、気圧差）	（竜巻荷重） 使用済燃料の受入れ施設及び貯蔵施設用 安全冷却水系冷却塔 A、B、主排気筒、竜巻防護対策設備等（気圧差） 前処理建屋換気設備、分離建屋換気設備、精製建屋換気設備等
第9条 外部からの衝撃による損傷の防止（落雷対策）	使用済燃料受入れ・貯蔵建屋	保安器	保安器収納箱の設置、保安器の設置	保安器収納箱：4面、保安器：66台
	使用済燃料受入れ・貯蔵施設用冷却水設備(A)（F1(A)）	保安器	保安器収納箱の設置、保安器の設置	保安器収納箱：8面、保安器：26台
	使用済燃料受入れ・貯蔵施設用冷却水設備(B)（F1(B)）	保安器	保安器収納箱の設置、保安器の設置	保安器収納箱：14面、保安器：41台
	前処理建屋	保安器	保安器収納箱の設置、保安器の設置	保安器収納箱：6面、保安器：72台
			既設制御盤への保安器の設置	保安器：4台（既設制御盤：4面）
		アイソレータ	既設アイソレータの交換	アイソレータ：8台（安全系制御盤：2面）
	分離建屋	保安器	保安器収納箱の設置、保安器の設置	保安器収納箱：2面、保安器：50台
			既設制御盤への保安器の設置	保安器：2台（既設制御盤：2面）
		アイソレータ	既設制御盤へのアイソレータの設置	アイソレータ：56台（安全系制御盤：8面）
		アイソレータ	既設アイソレータの交換	アイソレータ：20台（安全系制御盤：4面）

注）本表に記載の内容は、現状の設計進捗を反映したものであり、対象機器、内容および物量については、今後、変更となる場合がある。

条文ごとの工事等（設計基準）

条文	対象建屋	対象機器	内容（工事、評価）	物量（工事、評価）
	精製建屋	保安器	保安器収納箱の設置、保安器の設置	保安器収納箱：2面、保安器：28台
			既設制御盤への保安器の設置	保安器：1台（既設制御盤：1面）
	ハル・エンドピース貯蔵建屋	保安器	既設制御盤への保安器の設置	保安器：1台（既設制御盤：1面）
	制御建屋	保安器	保安器収納箱の設置、保安器の設置	保安器収納箱：1面、保安器：1台
			既設制御盤への保安器の設置	保安器：3台（既設制御盤：1面）
	出入管理建屋	保安器	既設制御盤への保安器の設置	保安器：2台（既設制御盤：2面）
	一般共同溝	保安器	保安器収納箱の設置、保安器の設置	保安器収納箱：4面、保安器：4台
	ウラン脱硝建屋	保安器	保安器収納箱の設置、保安器の設置	保安器収納箱：2面、保安器：2台
	ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋	保安器	保安器収納箱の設置、保安器の設置	保安器収納箱：3面、保安器：37台
			既設制御盤への保安器の設置	保安器：2台（既設制御盤：2面）
		アイソレータ	既設制御盤へのアイソレータの設置	アイソレータ：2台（安全系制御盤：2面）
	還元ガス建屋	保安器	保安器収納箱の設置、保安器の設置	保安器収納箱：1面、保安器：3台
	非常用電源建屋	保安器	保安器収納箱の設置、保安器の設置	保安器収納箱：4面、保安器：4台
	ボイ建屋	保安器	既設制御盤への保安器の設置	保安器：61台（既設制御盤：9面）
	ユーティリティ建屋	保安器	保安器収納箱の設置、保安器の設置	保安器収納箱：5面、保安器：126台
			既設制御盤への保安器の設置	保安器：5台（既設制御盤：1面）
	第2一般排水処理建屋	保安器	既設制御盤への保安器の設置	保安器：4台（既設制御盤：1面）
	常用冷却水ポンプ建屋	保安器	保安器収納箱の設置、保安器の設置	保安器収納箱：1面、保安器：19台
			既設制御盤への保安器の設置	保安器：4台（既設制御盤：2面）
	ボイ用燃料受入れ・貯蔵所	保安器	保安器収納箱の設置、保安器の設置	保安器収納箱：3面、保安器：5台
	ボイ用燃料貯蔵所	保安器	保安器収納箱の設置、保安器の設置	保安器収納箱：2面、保安器：2台
	原水ポンプ建屋	保安器	既設制御盤への保安器の設置	保安器：1台（既設制御盤：1面）
	工業用水等ポンプ建屋	保安器	保安器収納箱の設置、保安器の設置	保安器収納箱：2面、保安器：38台
	D/G用燃料油受入れ・貯蔵所	保安器	保安器収納箱の設置、保安器の設置	保安器収納箱：2面、保安器：6台

注）本表に記載の内容は、現状の設計進捗を反映したものであり、対象機器、内容および物量については、今後、変更となる場合がある。

条文ごとの工事等（設計基準）

条文	対象建屋	対象機器	内容（工事、評価）	物量（工事、評価）
	先行用冷却水設備（ユーティリティ建屋内）	保安器	既設制御盤への保安器の設置	保安器：2台（既設制御盤：1面）
	運転予備用冷却水ポンプ建屋	保安器	保安器収納箱の設置、保安器の設置	保安器収納箱：1面、保安器：16台
	海洋放出管	保安器	既設制御盤への保安器の設置	保安器：49台（既設制御盤：8面）
	淡水取水ポンプ室	保安器	既設制御盤への保安器の設置	保安器：4台（既設制御盤：1面）
第10条 再処理施設への人の不法な侵入等の防止	制御建屋	データ伝送設備	プロセスデータ伝送サーバ設置（██████████）	プロセスデータ伝送サーバ（██████████）：████
	（屋外）	立入制限区域フェンス	緊急時対策所等を物理的障壁により囲うための立入制限区域フェンスの設置	立入制限区域フェンス：1式
第11条 溢水による損傷の防止	使用済燃料受入れ・貯蔵建屋 プール水の溢水を防止するための止水板、蓋を検討中	堰	堰の設置	堰：2箇所
		防水扉	防水扉の設置	扉：12箇所
		逆止弁	逆流防止に伴う逆止弁設置	逆止弁：116台
		蒸気遮断弁制御回路	温度計の設置	温度計：11台
		排水扉	既存扉を排水扉に交換	扉：8箇所
		貫通孔処理	貫通孔穴仕舞い	穴仕舞い：2336箇所
		耐震BCクラス配管	サポート補強、追加、位置変更	詳細検討中
	使用済燃料受入れ・貯蔵管理建屋	蒸気遮断弁	蒸気遮断弁設置	蒸気遮断弁：1台
	使用済燃料受入れ・貯蔵施設用冷却水設備(B)（F1(B)）	逆止弁	逆流防止に伴う逆止弁設置	逆止弁：16台
		堰	堰の設置	堰：2箇所
		蒸気遮断弁制御回路	温度計の設置	温度計：1台
		貫通孔処理	貫通孔穴仕舞い	穴仕舞い：144箇所
	前処理建屋	蒸気遮断弁	蒸気遮断弁設置	蒸気遮断弁：1台
		堰	堰の設置	堰：22箇所
		溢水防護板	溢水防止に伴う板の設置	溢水防護板：3台
		逆止弁	逆流防止に伴う逆止弁設置	逆止弁：30台
		防水扉	防水扉の設置	扉：3箇所
		緊急遮断弁制御回路	安全系制御盤の設置	安全系制御盤：2面

██████████ については核不拡散の観点から公開できません。

注) 本表に記載の内容は、現状の設計進捗を反映したものであり、対象機器、内容および物量については、今後、変更となる場合がある。

条文ごとの工事等（設計基準）

条文	対象建屋	対象機器	内容（工事、評価）	物量（工事、評価）
		蒸気遮断弁制御回路	現場監視制御盤の設置	現場監視制御盤：1面
			温度計の設置	温度計：28台
		排水扉	既存扉を排水扉に交換	扉：126箇所
		貫通孔処理	貫通孔穴仕舞い	詳細検討中
		耐震BCクラス配管	サポート補強、追加	詳細検討中
		耐震BCクラス機器	脚交換、補強部材追加	詳細検討中
	分離建屋	緊急遮断弁	緊急遮断弁設置	緊急遮断弁：6台
		蒸気遮断弁	蒸気遮断弁設置	蒸気遮断弁：1台
		逆止弁	逆流防止に伴う逆止弁設置	逆止弁：37台
		溢水防護板	溢水防止に伴う板の設置	溢水防護板：2台
		堰	堰の設置	堰：10箇所
		防水扉	防水扉の設置	扉：9箇所
		緊急遮断弁制御回路	安全系制御盤の設置	安全系制御盤：2面
		蒸気遮断弁制御回路	現場監視制御盤の設置	現場監視制御盤：1面
			温度計の設置	温度計：49台
		排水扉	既存扉を排水扉に交換	詳細検討中
		貫通孔処理	貫通孔穴仕舞い	穴仕舞い：1119箇所
		耐震BCクラス配管	サポート補強、追加、位置変更	詳細検討中
		耐震BCクラス機器	耐震補強	補強箇所：3箇所
	精製建屋	堰	堰の設置	堰：15箇所
		防水扉	防水扉の設置	扉：8箇所
		緊急遮断弁	緊急遮断弁設置	緊急遮断弁：4台
		蒸気遮断弁	蒸気遮断弁設置（一般共同溝内に設置）	蒸気遮断弁：1台
		逆止弁	逆流防止に伴う逆止弁設置	逆止弁：14台

注）本表に記載の内容は、現状の設計進捗を反映したものであり、対象機器、内容および物量については、今後、変更となる場合がある。

条文ごとの工事等（設計基準）

条文	対象建屋	対象機器	内容（工事、評価）	物量（工事、評価）
		溢水防護板	溢水防止に伴う板の設置	溢水防護板：5台
		蒸気防護板他	蒸気防護対策設備の設置	防護板 8箇所、計器改造 4箇所、タンバ設置 6箇所
		緊急遮断弁制御回路	安全系制御盤の設置	安全系制御盤：2面
		蒸気遮断弁制御回路	現場監視制御盤の設置	現場監視制御盤：2面
			温度計の設置	温度計：27台
		排水扉	既存扉を排水扉に交換	扉：91箇所
		貫通孔処理	貫通孔穴仕舞い	穴仕舞い数：2000箇所
	制御建屋	堰	堰の設置	堰：10箇所
		防水扉	防水扉の設置	扉：6箇所
		緊急遮断弁制御回路	安全系制御盤の設置	安全系制御盤：2面
			安全系監視制御盤の設置	安全系監視制御盤：2面
			地震計の設置	地震計：6台
		排水扉	既存扉を排水扉に交換	詳細検討中
		耐震BCクラス配管	サポート補強、追加	詳細検討中
	主排気筒管理建屋	貫通孔処理	貫通孔穴仕舞い	穴仕舞い数：8箇所
	ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋	緊急遮断弁	緊急遮断弁設置	緊急遮断弁：4台
		逆止弁	逆流防止に伴う逆止弁設置	逆止弁：37台
		堰	堰の設置	堰：32箇所
		緊急遮断弁制御回路	安全系制御盤の設置	安全系制御盤：2面
		蒸気遮断弁制御回路	現場監視制御盤の設置	現場監視制御盤：1面
			温度計の設置	温度計：4台
		排水扉	既存扉を排水扉に交換	扉：25箇所
		貫通孔処理	貫通孔穴仕舞い	穴仕舞い数：約1700箇所
		耐震BCクラス配管	サポート補強、追加、位置変更	補強箇所数：約200箇所

注) 本表に記載の内容は、現状の設計進捗を反映したものであり、対象機器、内容および物量については、今後、変更となる場合がある。

条文ごとの工事等（設計基準）

条文	対象建屋	対象機器	内容（工事、評価）	物量（工事、評価）	
		耐震BCクラス機器	耐震補強	BCクラス機器：約10基	
	ウラン・プルトニウム混合酸化物貯蔵建屋	堰	堰の設置	堰：13箇所	
		排水扉	既存扉を排水扉に交換	扉：20箇所	
		貫通孔処理	貫通孔穴仕舞い	穴仕舞い：約200箇所	
		耐震BCクラス配管	サポート補強、追加、位置変更	補強箇所：約200箇所	
		非常用電源建屋	耐震BCクラス配管	サポート補強、追加	詳細検討中
	非常用電源建屋	耐震BCクラス機器	脚交換、補強部材追加	詳細検討中	
		高レベル廃液ガラス固化建屋	緊急遮断弁	緊急遮断弁設置	緊急遮断弁：4台
	高レベル廃液ガラス固化建屋	蒸気遮断弁	蒸気遮断弁設置	蒸気遮断弁：1台	
		逆止弁	逆流防止に伴う逆止弁設置	逆止弁：48台	
		防水扉	防水扉の設置	扉：1箇所	
		堰	堰の設置	堰：15箇所	
		緊急遮断弁制御回路	安全系制御盤の設置	安全系制御盤：2面	
		蒸気遮断弁制御回路	現場監視制御盤の設置	現場監視制御盤：1面	
			温度計の設置	温度計：29台	
		排水扉	既存扉を排水扉に交換	詳細検討中	
		貫通孔処理	貫通孔穴仕舞い	穴仕舞い：2525箇所	
		耐震BCクラス配管	サポート補強、追加、位置変更	詳細検討中	
		第1ガラス固化体貯蔵建屋棟	耐震BCクラス配管	サポート補強、追加、位置変更	詳細検討中
		一般共同溝	蒸気遮断弁	蒸気遮断弁設置	蒸気遮断弁：3台
			緊急遮断弁	緊急遮断弁設置	詳細検討中
			耐震BCクラス配管	サポート補強、追加	詳細検討中
	評価	機器・配管系	溢水防護に関する説明書 ・基本方針 ・溢水に係る評価	使用済燃料受入れ・貯蔵建屋、前処理建屋、分離建屋、 精製建屋、ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋、高レベル廃 液ガラス固化建屋等	

注) 本表に記載の内容は、現状の設計進捗を反映したものであり、対象機器、内容および物量については、今後、変更となる場合がある。

条文ごとの工事等（設計基準）

条文	対象建屋	対象機器	内容（工事、評価）	物量（工事、評価）
第12条 化学薬品の漏えいによる損傷の防止	硝酸ラインの移設および遮断弁の設置を検討中			
	評価	機器・配管系	化学薬品防護に関する説明書 ・基本方針 ・化学薬品防護に係る評価	使用済燃料受入れ・貯蔵建屋、前処理建屋、分離建屋、精製建屋、ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋、高レベル廃液ガラス固化建屋等
第15条 安全機能を有する施設（共用）	ウラン・プルトニウム混合酸化物貯蔵建屋	洞道搬送台車（MOX取合い）	洞道搬送台車の設置	洞道搬送台車：1台
		貯蔵容器搬送用洞道の境界扉（MOX取合い）	貯蔵容器搬送用洞道の境界扉の設置	貯蔵容器搬送用洞道の境界扉：1箇所
		貯蔵容器搬送用洞道（MOX取合い）	貯蔵容器搬送用洞道とウラン・プルトニウム混合酸化物貯蔵建屋との接続	ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋の仮壁撤去および洞道：1式
第19条 安全保護回路	ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋	安全保護回路	落雷事象を受けた、フェイル機能追加	詳細検討中
第20条 制御室等	前処理建屋	自然現象把握カメラ（屋外カメラ）	自然現象把握カメラの設置	カメラ：1台
	制御建屋	監視モニタ（表示装置）	監視モニタの設置	モニタ：1台
第24条 監視設備	制御建屋	モニタリングポスト、ダストモニタの無線伝送	モニタリングポスト、ダストモニタの無線伝送の受信機器の追加	設置台数：1台
		環境監視盤	モニタリングポスト、ダストモニタの無線伝送受信のための改造	環境監視盤：1面
	新緊急時対策所 （屋外）	モニタリングポスト、ダストモニタの無線伝送	モニタリングポスト、ダストモニタの無線伝送の受信機器の追加	設置台数：1台（26条のデータ収集装置への伝送を含む）
		モニタリングポスト	モニタリングポストの無線伝送化	モニタリングポスト：9台
		ダストモニタ	ダストモニタの無線伝送化	ダストモニタ：9台
第26条 緊急時対策所	制御建屋	データ収集装置	放射線監視設備からデータ収集装置に測定値を伝送するための改造	設置台数：2台
		環境監視盤	モニタリングポスト、ダストモニタからデータ収集装置に測定値を伝送するための改造	改造盤数：1面
材料及び構造	評価	機器・配管系	耐圧強度及び耐食性に関する説明書 ・基本方針 ・耐圧評価	新設設備

注）本表に記載の内容は、現状の設計進捗を反映したものであり、対象機器、内容および物量については、今後、変更となる場合がある。